



進路だより

R3.11.17
第1学年 7号
安古市高校進路指導部

【進路志望を掘り下げよう ～文理選択を終えて～】

11月4日（木）に文理選択の最終調査が終わり1学年全員の文理選択が決定しました。5月の進路講演会で話した「大きな決意」の一つを自分で選択できたと思います。次は「小さな決意」をどう乗り越えていくかが大切です。これは「大きな決意」よりもパワーを使うものです。自分のやりたいことを他者（保護者や先生）に伝えて納得させる。もしくは自分自身を納得させる（自分が将来やりたいことのために、自分の自由時間を少しずつ学習時間へと変えていく）。戦略的学習力の視点から、いつまでに何を終わらせるのか…これからも進路に関わる選択は続いていくのです。

さて、文理選択が決まった今、志望をさらに深く掘り下げていきます。漠然としたものから、より具体的なものへする必要があります。「とりあえず」の志望ではなく、「本当にこの大学に（この学部）に進みたい」という志望こそが学習のモチベーションになるからです。志望は「育てる」もの。「なぜ大学に行くのか」「本当にめざす大学が最適な進路か」を真剣に考え、1年生の後半戦で進路意識をしっかりと育てていきましょう。

11月17日のLHRでは「学部学科がわかる本」を用いて、「進路志望掘り下げシート」を記入します。

【進研模試を振り返ろう ～成績アップ大作戦をうけて～】

11月6日（土）には11月進研模試が実施されました。以前の進路LHRで「成績アップ大作戦」を記述してもらいましたが、果たして自分はその通りに実行できたでしょうか。

「自己採点をしたら、点数が上がっていたので、とりあえずよし」では戦略的とは言えません。なぜなら「次にまた点数を上げるにはどうしたら良いのか」が分からないからです。「知っている文章が出題された」「ちょうど勉強していた分野が出題された」「最近覚えた単語が出てきた」このような運任せの得点には再現性がありません。

また、「成績アップ大作戦」を実行できなかった人も、自分を振り返ってみてください。時間は有限です。「単語700個」など無茶な計画を立てていなかったか？逆算して考えられるようになることは大切です。

同じく、計画に具体的な記述がなく、ぼんやりしすぎている人も多かったのではないのでしょうか。「英語をがんばる」「文章を読む」「問題を解く」などはまるで具体的ではなく、戦略的とは言えません。

出来た理由・出来なかった理由の両方を明確に出来てこそ、戦略的学習力と言えます。もう一度ポートフォリオを見返してください。そして、しっかり振り返ることが出来たら、そのままポートフォリオに次の目標を書き加えましょう。

また、デジタルサービスの復習動画などは活用していますか？模試の記憶は刻一刻と薄れていきます。しっかりと定着させるためにも、結果が帰ってくる前に早めの復習をしましょう。苦手分野はどこかを洗い出し、時間をおいてもう一度解いてみる。間違っていた問題が自分自身で解決できないのなら、友達や先生に聞いてみましょう。

【学習時間調査 ～1日3時間の学習時間の作り方～】

毎号、進路だよりでは生活学習記録の結果について書いていますが、みなさんの平均学習時間は調査ごとに減少しています。部活動などで、学校生活に慣れれば慣れるほど時間が減少している人もいるのではないのでしょうか。

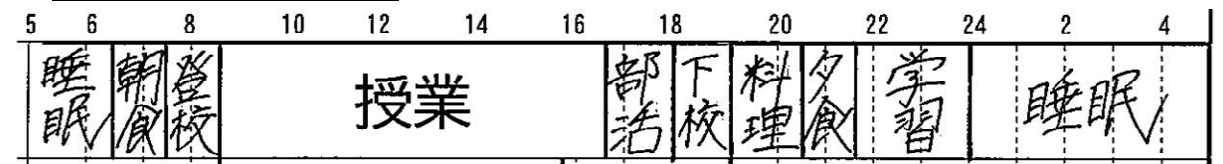
今回は、とあるクラスの生活学習記録を紹介します。3人とも、きちんと時間を作って180分を維持しようと頑張っています。皆さんも参考にしてみてください。

【Aくんの平日180分】



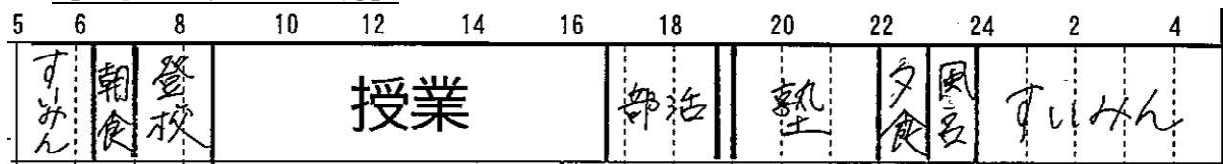
Aくんは文化部に所属しています。学校から家までが遠いので、通学に時間がかかりますが、通学の時間を利用して、進学先で必要な気象学の勉強をしています。高校の学習以外にも自分のやりたいことに時間を取れているのはいいですね。

【Bさんの平日180分】



Bさんは運動部に所属しています。部活も忙しいですが、なによりも忙しいのが家族の晩ご飯を作るという日課です。家事は忙しいですが、それを言い訳にせず、部活も勉強も頑張っています。暗記は登校時にまとめてやって180分を確保しています。

【Cさんの平日180分】



Cさんも運動部に所属しています。試合などが続くと土日でも部活動、なんて時もあります。それでも平日も含めて180分の勉強時間を確保しようと頑張っています。家では疲れ切って勉強できないので、塾（180分）を上手に使っています。

担任の先生は常表やコメントを通して、数値ではなくみなさんの頑張りをしっかりと見てます。困った事があれば相談しましょう。もうすぐ期末試験、頑張りましょう。